経営比較分析表

北海道　古平町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**1か月20m^{3}当たり家庭料金(円)**
－	該当数値なし	97.50	5,440

人口（人）	面積(km^2)	人口密度(人/km^2)
3,344	188.36	17.75
現在給水人口(人)	**給水区域面積(km^2)**	**給水人口密度(人/km^2)**
3,233	9.30	347.63

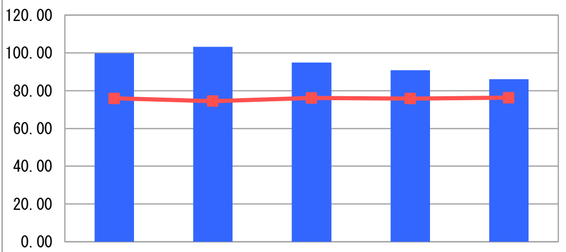
グラフ凡例

- ■ 当該団体値（当該値）
- ― 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①収益的収支比率(%)

【75.51】



	H23	H24	H25	H26	H27
当該値	99.92	103.20	94.85	90.88	86.04
平均値	75.89	74.52	76.09	75.87	76.27

「単年度の収支」

②累積欠損金比率(%)

	H23	H24	H25	H26	H27
当該値					
平均値					

「累積欠損」

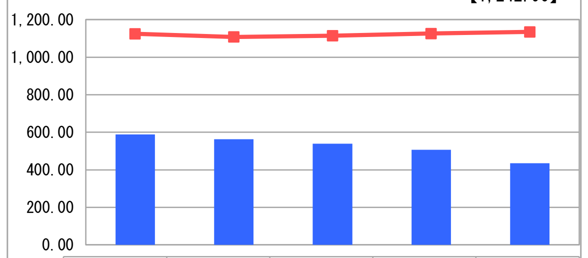
③流動比率(%)

	H23	H24	H25	H26	H27
当該値					
平均値					

「支払能力」

④企業債残高対給水収益比率(%)

【1,242.90】

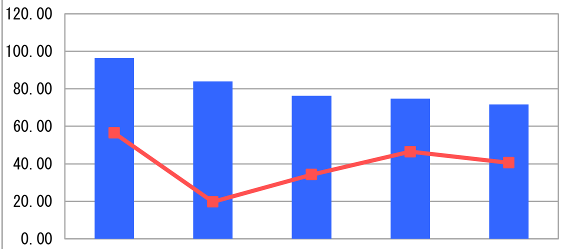


	H23	H24	H25	H26	H27
当該値	588.52	562.80	538.66	506.49	435.69
平均値	1,124.64	1,108.26	1,113.76	1,125.69	1,134.67

「債務残高」

⑤料金回収率(%)

【33.35】

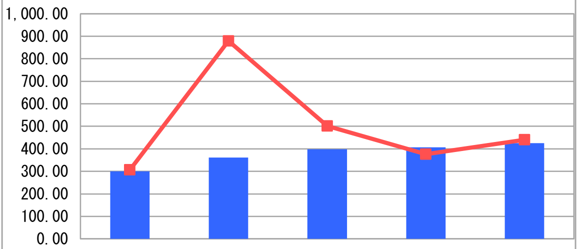


	H23	H24	H25	H26	H27
当該値	96.36	84.00	76.29	74.74	71.73
平均値	56.46	19.77	34.25	46.48	40.60

「料金水準の適切性」

⑥給水原価(円)

【524.69】

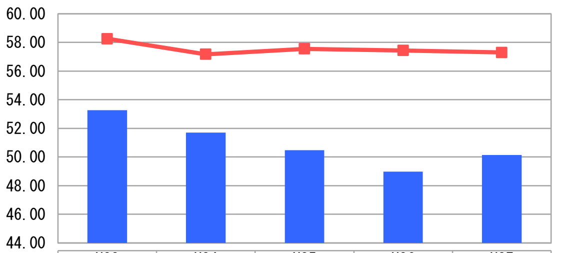


	H23	H24	H25	H26	H27
当該値	299.87	361.52	397.87	406.61	425.68
平均値	306.49	878.73	501.18	376.61	440.03

「費用の効率性」

⑦施設利用率(%)

【57.58】

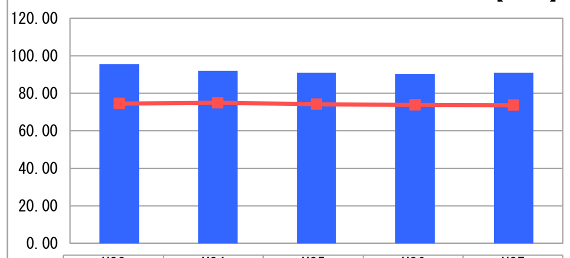


	H23	H24	H25	H26	H27
当該値	53.27	51.71	50.47	48.97	50.13
平均値	58.25	57.17	57.55	57.43	57.29

「施設の効率性」

⑧有収率(%)

【75.27】



	H23	H24	H25	H26	H27
当該値	95.46	92.00	91.00	90.26	90.91
平均値	74.53	74.94	74.14	73.83	73.69

「供給した配水量の効率性」

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

	H23	H24	H25	H26	H27
当該値					
平均値					

「施設全体の減価償却の状況」

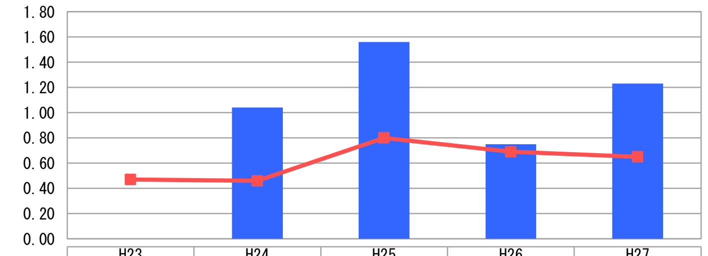
②管路経年化率(%)

	H23	H24	H25	H26	H27
当該値					
平均値					

「管路の経年化の状況」

③管路更新率(%)

【0.71】



	H23	H24	H25	H26	H27
当該値	0.00	1.04	1.56	0.75	1.23
平均値	0.47	0.46	0.80	0.69	0.65

「管路の更新投資の実施状況」

※　平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は現在14%程度の赤字であるが、その大きな要因は、平成18年度～21年度にかけて行なった、古平浄水場の改修及び平成31年度まで予定している、配水管更新事業の起債償還によるもので、平成28年度をピークに減少し、平成32年度には黒字に転換する予定です。今後の経営課題として考えられることは、地域の人口減少及び産業活動の低迷による料金収入の減少に対し、施設の老朽化に伴う維持管理費の増加が懸念され、何らかの経営健全化対策が必要であります。

2. 老朽化の状況について

本町の水道は昭和39年に創設し、現在の浄水場は昭和51年に竣工し、平成21年に機械及び電気設備を更新しました。また、老朽管は計画的に更新を行なっています。

全体総括

上の1.2により述べているとおり、将来に向け、料金収入の減少と、施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加が懸念され、一層の経営改善に向け、平成32年までに経営戦略を策定し取り組んでいきます。